

ドイツ科学・イノベーションフォーラム東京 ベルリン日独センター

日程案

日独シンポジウム

危機への対応

新型コロナウイルスパンデミックがもたらす心理社会的影響

2021年6月10日(木)、ウェブ開催

日本標準時18時～20時、中欧標準時11時～13時

日本標準時 / 中欧標準時

会議言語：ドイツ語および日本語（同時通訳付き）

17:30/10:30 Zoom 待機室から会場へのご案内開始

18:00/11:00 開会のご挨拶

ドロテア・マーンケ(ドイツ科学・イノベーションフォーラム東京ディレクター)

ユリア・ミュンヒ(Dr.、ベルリン日独センター事務総長)

18:10/11:10 現場からの考察

司会：ウルフ・キルゼ(ビーレフェルト大学脅威管理プロジェクトリーダー)

大空幸星(NPO「あなたのいばしょ」創設者)

イェンス・グレーベナー(ベルリン危機対応サービス(Berliner Krisendienst) 西部地域統括)

18:30/11:30 パネルディスカッション「パンデミックの影響・進展・解決へのアプローチ」

司会：ノラ・コットマン(Dr.、ドイツ日本研究所研究員)

クラウス・ベルガー(Prof. Dr.、NAKO専門家グループ「神経・精神疾患」代表、ミュンスター大学疫学・社会医学研究所所長)

上田路子(Prof. Dr.、早稲田大学政治経済学術院准教授)

クラウス・リープ(Prof. Dr.、ライプニッツ・レジリエンス研究所科学ディレクター、マインツ大学病院精神科・心理療法科科長)

内田由紀子(Prof. Dr.、京都大学こころの未来研究センター、京都大学大学院人間・環境学研究科、社会心理学・文化心理学教授)

質疑応答

20:00/13:00 閉会